

厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業)
「訪問系サービスにおける LIFE の活用に向けた評価指標の開発に資する研究」
分担研究報告書(令和6年度)

訪問系サービスを受ける高齢者のモニタリング指標に関する文献レビュー

研究分担者 保田 江美 (国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部)
研究分担者 山口 佳小里 (国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部)
研究分担者 柴山 志穂美 (神奈川県立保健福祉大学実践教育センター)

研究要旨

2021 年からは、ケアの質向上および重度化防止を目的として、科学的介護情報システム (LIFE) の運用が開始された。しかし、訪問系サービスは施設系サービスと比較し、サービスの特性に適した LIFE 指標の検討が不十分である。そこで本研究は、訪問系サービス (訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問介護) を利用し、在宅療養をしている高齢者の状態のモニタリングに活用される指標を、先行研究から明らかにすることを目的とした。タイトル・アブストラクトスクリーニングの対象となった文献は、2363 件中 617 件であった。タイトルおよびアブストラクトから、目的に合致する指標として、のべ 1,585 個が抽出された。モニタリングに活用される指標が、包括的評価ツールと具体的評価指標に大別されることがわかった。包括的評価ツールとして、国際的には、InterRAI HC と OASIS が活用されており、これらと施設および通所サービスの科学的介護推進体制加算の項目とを比較した。その結果、既存の LIFE に含まれる項目は、InterRAI HC および OASIS に含まれる項目と概ね合致することが明らかになった。一方で、「障害高齢者の日常生活自立度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」が基本情報として含まれること、「認知症行動障害尺度 (DBD13)」を使用して行動障害をモニタリングしていることは LIFE の特徴であることが示唆された。「視覚」、「聴覚」、「転倒」、「QOL」に関しては、評価に含むか今後さらなる議論が必要である。

A. 研究目的

2017 年の地域包括ケア強化法により、高齢者の自立支援や重度化防止を一層推進するため、自治体が地域特性に応じて PDCA サイクルを用いて取り組むことが制度化された。2021 年からは、ケアの質向上および重度化防止を目的として、科学的介護情報システム (LIFE) の運用が開始された。しかし、訪問系サービスは施設系サービスと比較し、サービスの特性に適した

LIFE 指標の検討が不十分である。

そこで本研究は、訪問系サービス (訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問介護) を利用し、在宅療養をしている高齢者の状態のモニタリングに活用される指標を、先行研究から明らかにすることを目的とする。

B. 研究方法

本研究では、レビューの網羅性を高めるため、

スコーピングレビューの手法を用いた。スコーピングレビューとは、研究領域の基盤となる重要な概念を整理し、素早くまとめることである (Arksey & and O' Malley, 2005)。レビューのプロセスは、Arksey & and O' Malley (2005) と Levac et. al (2010) で提案されたフレームワークに従った。具体的には、1) リサーチクエスチョンを設定する、2) 関連する先行研究を特定する、3) レビューを実施する研究を選択する、4) 得られたデータを表に示す、5) 研究結果を要約し、提示する、というプロセスで実施した。本研究では、先行研究の概要を把握することを優先し、まずは1) と2) について実施した。

リサーチクエスチョンの設定では、Population (対象者)、Concept (概念)、Context (文脈) を示す「PCC」の視点の活用が推奨されている。本研究では、「在宅療養の場で (文脈)、訪問系サービスを受けている高齢者の (対象) 状態をモニタリングする指標 (概念) にはどのようなものが報告されているか」をリサーチクエスチョンとして設定した。

文献検索は、The Joanna Briggs Institute (JBI) で推奨されている方法 (Micah. et al., 2015) を採用し、Pubmed、CINAHL、Embase の3つのデータベースを使用した。検索式はPCCをもとに作成し、2024年9月11日に検索をおこなった。

データベースの検索結果を Rayyan (<https://www.rayyan.ai/>) にエクスポートし、得られた引用文献リストから重複を削除した。二人の研究者が独立して、タイトルおよびアブストラクトをレビューし、PCCに合致する論文を特定した。特定する過程において、研究者間の意見が異なる場合には、合意に至るまで議論した。特定された論文のタイトルおよびアブストラクトから、高齢者の状態をモニタリングする指標を抽出し、リスト化するとともに、研究者らで類似領域ごとに整理した。

(倫理面への配慮)

本研究は文献レビューであり、人を対象とした直接的な研究や個人情報を含むデータを使用していないため、倫理審査委員会の承認は必要としない。

C. 研究結果

3データベースより、4,535件が抽出された。うち、2173件が重複文献として削除され、スクリーニングの対象は2363件となった。タイトルおよびアブストラクトスクリーニングを実施し、PCCに合致する617件が抽出された。

617件の文献のタイトルおよびアブストラクトの内容から、在宅療養の場で訪問系サービスを受けている高齢者の状態のモニタリング指標として、のべ1,585個の指標を抽出した。

これらの指標を概観すると、LIFEのように体系的かつ包括的な評価ツール (以後、包括的評価ツールと表記) と Barthel Index や Mini-Mental State Examination (MMSE)、転倒の既往といった特定の目的を持つ評価ツールや評価項目 (以後、具体的評価指標と表記) との2つに大別された。前者がのべ346件、後者がのべ1,239件であった。後者については、どの領域の評価に使用されるかという視点で、帰納的に分類した。

1) 包括的評価ツール

頻出したツールは、「InterRAI Home Care (HC)」 (のべ127件/包括的評価ツールの36.7%) と「Outcome and Assessment Information Set (OASIS)」 (のべ26件/7.5%) の二つであった。InterRAI は、医療や介護を必要とする人々を対象にした包括的な評価ツールで、世界各国の政府や施設で導入されている。InterRAI HC はホームケア版として活用されている。OASIS は、アメリカのメディケアおよびメディケイドを受ける患者のケアの必要性、リスク、アウトカムを評価する標準化されたデータセットである。LIFE もさまざまな角度から包括的に高齢者の状態を評価するものである。よって既存の施設および通所サービス

の科学的介護推進体制加算の項目（以下、既存の LIFE 項目と表記）とこれら二つの包括的評価ツールの項目とを比較した。結果を表 1 および表 2 に示す。

2) 具体的評価指標

「動作・移動」に関する指標がもっとも多く抽出された（300 件／具体的評価指標の 24.2%）。うち、Instrumental Activities of Daily Living（IADL／手段的日常生活動作）に関連する指標が 49 件、Barthel Index が 38 件、Timed up and go-test（TUG）が 18 件、Katz ADL Index が 13 件であった。

つぎに多く抽出された領域は「精神」に関する指標で（108 件／8.7%）、Geriatric Depression Scale（GDS）が 14 件と多く使用されていた。

ついで「QOL」に関する指標が抽出され（105 件／8.5%）、うち Health-Related Quality of Life（HRQoL）が 30 件、短縮版である EuroQoL 5-Dimensions（EQ-5D）が 17 件であった。

「食事・栄養」に関する指標は 96 件（7.7%）抽出され、その約半数の 52 件で Mini Nutritional Assessment（MNA）が使用されていた。「認知」に関する指標は 84 件（6.8%）が抽出され、Mini-Mental State Examination（MMSE）が 30 件ともっとも多く使用されていた。「転機（在宅療養から病院への入院、救急外来の受診等）」が 82 件（6.6%）、「属性（性別や国籍などの情報）」が 74 件（6.0%）、「特定の疾患の有無や病期」が 61 件（4.9%）と続いた。

「口腔・嚥下」、「転倒」、「薬剤（服薬状況等）」、「疼痛」、「褥瘡」、「社会活動・交流」に関する指標は 10～30 件と少なく、「排泄」、「聴力」、「視力」、「幸福感」については、10 件を下回った。

D. 考察

タイトル・アブストラクトスクリーニングの結果から、在宅療養の場で、訪問系サービスを受けている高齢者の状態をモニタリングする指標が、

包括的評価ツールと具体的評価指標に大別されることがわかった。既存の LIFE 項目と包括的評価ツールとして頻出した InterRAI HC と OASIS の項目とを比較したところ、既存の LIFE 項目のみに存在する項目は、基本情報の「障害高齢者の日常生活自立度」、「認知症高齢者の日常生活自立度」、総論の「緊急入院の状況：入院日」、口腔・栄養の「食事摂取量」、「必要栄養量」、「提供栄養量」、「むせ」、「歯の汚れ」、「歯肉の腫れ・出血」、認知症の「Vitality Index（意欲の指標）」、「認知症行動障害尺度（DBD13）」の一部、であった。

InterRAI は、さまざまなバージョンがあり、知的障害者向けの interRAI Intellectual Disability（ID）が存在する。OASIS は障害者に特化した項目はない。高齢者の状態を知るための基本情報として「障害高齢者の日常生活自立度」の指標を用いていることは、LIFE の特徴の一つであることが示唆される。また、InterRAI HC や OASIS を導入している国や州よりも日本の高齢化率が高いことから、「認知症高齢者の日常生活自立度」を基本情報として収集していることについても LIFE の特徴の一つであると考ええる。

「緊急入院の状況：入院日」については、入院日として合致する項目はないものの、InterRAI HC、OASIS とともに、緊急入院の有無等の項目が存在する。ほかの項目から同様の情報を収集していると考ええる。

「食事摂取量」、「必要栄養量」、「提供栄養量」に直接対応する項目は InterRAI HC には存在しないものの、栄養上の問題があるか（体重減少）などを通じて、別の視点から栄養状態をモニタリングしていると考えられる。OASIS では、嚥下／栄養状態にある「栄養学的アプローチ」の一部に含まれる。「むせ」についても InterRAI HC では、嚥下障害のスクリーニングのなかでおこなわれていると推察され、OASIS では、嚥下／栄養状態にある「摂食または食事」の下位項目に含まれる。

「歯の汚れ」、「歯肉の腫れ・出血」は、InterRAI HC と OASIS とともに、ほかの項目でカバーされてお

り、評価している内容については齟齬がないと言える。

「Vitality Index（意欲の指標）」は、LIFE の特徴的な項目であると考えられる。InterRAI HC には、気分と行動の項目で、意欲低下や無関心を評価する項目が存在するが、あくまで精神状態を評価する項目の一部であり、意欲に特化した評価は行われていない。また、OASIS には、直接的に意欲を評価する項目はない。

「認知症行動障害尺度（DBD13）」は、米国で開発された Dementia Behavior Disturbance scale の日本語版であるが、InterRAI HC や OASIS には採用されていなかった。一部、類似・対応する項目は存在するものの、全体としては独自の項目で、認知症を伴う行動障害をモニタリングしている。

InterRAI HC および OASIS の双方、あるいは片方に使用されていた項目も存在する。多くは、LIFE の項目を異なる視点から評価する指標であるが、一部特徴的な項目として「視覚」、「聴覚」、「転倒」が挙げられる。これらは、タイトル・アブストラクトスクリーニングの結果でも、研究上の指標として扱われている件数が少なかった。高齢者が自宅で生活していくうえでは重要な項目である一方で、ALD 等の評価において、同時に評価を実施している可能性も高く、項目として必要であるかは今後、十分な議論が必要である。

タイトル・アブストラクトスクリーニングでは、具体的な評価指標のなかで、「QOL」に関する項目が 8.5% 存在した。しかし、3 つのツールには、QOL を測定する指標は含まれなかった。QOL は高齢者の状態を評価するための重要な項目である。LIFE への適用には議論が必要であるが、本研究の知見が議論の基礎資料となることを期待したい。

E. 結論

本研究では、訪問系サービス（訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問介護）を利用し、在宅療養をしている高齢者の状態のモニタリングに活用される指標を、先行研究から明らかにした。その結果、モニタリングに活用される指

標が、包括的評価ツールと具体的評価指標に大別されることがわかった。包括的評価ツールとして、国際的には、InterRAI HC と OASIS が活用されており、これらと既存の LIFE 項目を比較した。その結果、LIFE に含まれる項目は、そのほか二つの包括的評価ツールに含まれる項目と概ね合致することが明らかになった。一方で、「障害高齢者の日常生活自立度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」が基本情報として含まれること、「認知症行動障害尺度（DBD13）」を使用して行動障害をモニタリングしていることは LIFE の特徴であることが示唆された。

「視覚」、「聴覚」、「転倒」、「QOL」に関しては、LIFE への導入も含め、今後議論が必要である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

文献

Arksey, H., & O'Malley, L. (2005 年). Scoping studies: Towards a methodological framework. *International Journal of Social Research Methodology*, 8(1), 19-32.

<https://doi.org/10.1080/1364557032000119616>

Levac, D., Colquhoun, H., & O'Brien, K. K. (2010 年). Scoping studies: Advancing the methodology. *Implementation Science*, 5(1), 69. <https://doi.org/10.1186/1748-5908-5-69>

Micah D. J., P., Godfrey, C. M., Khalil, H., McInerney, P., Parker, D., & Soares, C. B. (2015 年). Guidance for conducting systematic scoping reviews. *International Journal of Evidence-Based Healthcare*, 13(3), 141-146. <https://doi.org/10.1097/XEB.0000000000000050>

表 1 : LIFE (科学的介護推進加算) を基準とした InterRAI および OASIS の項目対応

LIFE (科学的介護推進体制加算)				InterRAI HC			OASIS		
区分 ¹⁾	大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目
H ²⁾ F ²⁾	利用者情報	氏名		基本情報	氏名				
H ²⁾ F ²⁾	利用者情報	生年月日		基本情報	生年月日		管理情報 - 患者追跡	生年月日	
H ²⁾ F ²⁾	利用者情報	保険者番号							
H ²⁾ F ²⁾	利用者情報	性別		基本情報	性別		管理情報 - 患者追跡	性別	
H ²⁾ F ²⁾	利用者情報	被保険者番号		基本情報	介護保険証番号				
HF	基本情報	要介護度		基本情報	要介護度				
HF	基本情報	障害高齢者の日常生活自立度							
HF	基本情報	認知症高齢者の日常生活自立度							
HF	基本情報	評価日		基本情報	アセスメント基準日				
				アセスメント情報	アセスメント完成日		管理情報	評価完了日	
HF	基本情報	評価時点 (サービス利用状況)							

LIFE（科学的介護推進体制加算）				InterRAI HC			OASIS		
区分 ¹⁾	大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目
H ²⁾ F ²⁾ 、 ³⁾	総論	診断名		疾患	疾患		アクティブ診断 アクティブ診断	主な診断 その他の診断	
H ²⁾ F ²⁾	総論	緊急入院の状況	入院日						
H ²⁾ F ²⁾	総論	緊急入院の状況	受療時の主訴				管理情報	緊急治療の理由	
H ²⁾ F ²⁾ 、 ³⁾	総論	服薬情報	薬剤名	薬剤	全使用薬剤のリスト	薬剤名			
H ²⁾ F ²⁾	総論	家族の状況 (独居or同居)		基本情報	同居形態	同居者	習慣的な日常活動の好み	患者の生活状況 (独居or同居or介護付き住宅など、介護者がサポートできる時間)	
HF	総論	ADL	食事	機能状態	ADL	食事	機能的能力 嚥下/栄養状態	セルフケア 摂食または食事	食事
HF	総論	ADL	椅子とベッド間の移乗				機能状態	移乗（ベッドと椅子の間の移乗。または寝たきりの場合はベッド上での姿勢を取れる能力）	
HF	総論	ADL	整容	機能状態	ADL	個人衛生： 入浴とシャワーは含めない	機能的能力 機能的能力 機能状態	モビリティ セルフケア 身だしなみ（顔や手を洗う、爪の手入れなど）	椅子/ベッドから椅子への移乗 口腔衛生
HF	総論	ADL	トイレ動作 (移乗を含む)	機能状態	ADL	トイレの使用： 移乗は含めない	機能的能力 機能状態	セルフケア トイレの衛生	トイレ動作 (移乗含まない)
HF	総論	ADL	入浴	機能状態	ADL	トイレへの移乗	機能状態 機能的能力	トイレ移乗	トイレ移乗
HF	総論	ADL	入浴	機能状態	ADL	入浴： 背中を洗う、洗髪は含めない 歩行	機能的能力 機能的能力 機能状態	入浴 セルフケア 歩行/移動	シャワー/入浴
HF	総論	ADL	平地歩行	機能状態	移動ノ歩行	歩行距離	機能的能力 機能的能力 機能的能力	モビリティ モビリティ モビリティ	10フィート歩行 50フィート2ターン歩行 150フィート歩行
HF	総論	ADL	階段昇降	機能状態	移動ノ歩行	車いす自操距離	機能的能力 機能的能力 機能的能力	モビリティ モビリティ モビリティ	患者は車椅子やスクーターを使用していますか？ 車いすまたはスクーターで50フィート2ターン走行 使用する車椅子またはスクーターの種類 車いすまたはスクーターで150フィート走行
HF	総論	ADL	更衣	機能状態	ADL	上半身の更衣	機能的能力 機能的能力 機能的能力	モビリティ モビリティ モビリティ	階段昇降1段（縁石） 階段昇降4段 階段昇降12段
HF	総論	ADL	更衣	機能状態	ADL	下半身の更衣	機能的状態 機能的能力 機能的能力 機能的能力	上半身の着衣能力 上半身着衣 下半身の着衣能力 上半身着衣 上半身着衣	上半身の更衣 下半身の更衣 履物の着脱
HF	総論	ADL	排便コントロール	失禁	便失禁		膀胱と腸	膀胱失禁の頻度	
HF	総論	ADL	排尿コントロール	失禁	尿失禁		膀胱と腸	尿失禁または尿道カテーテルの存在	
HF	総論	ADL	排尿コントロール	失禁	尿失禁器材 (オムツやパッドは除く)				
HF	総論	ADL	排尿コントロール	失禁	オムツやパッドの使用				
HF	総論	ADL	排尿コントロール	失禁	利用の終了	終了日			
HF	総論	ADL	排尿コントロール	失禁	利用の終了	終了日			

LIFE（科学的介護推進体制加算）				InterRAI HC			OASIS		
区分 ¹⁾	大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目
HF	口腔・栄養	身長		口腔および栄養状態	身長と体重	身長（cm）	嚥下/栄養状態	身長と体重	
F	口腔・栄養	低栄養状態のリスクレベル							
HF	口腔・栄養	体重		口腔および栄養状態	身長と体重	体重（kg）	嚥下/栄養状態	身長と体重	
F	口腔・栄養	栄養補給法		口腔および栄養状態	栄養摂取の方法		嚥下/栄養状態	栄養学的アプローチ ⁴⁾	
F	口腔・栄養	食事形態		口腔および栄養状態	栄養管理（ダイエツタイプ）の必要（ありなし）	食物形態の加工（ソフト食、刻み、とろみ等の必要性）	嚥下/栄養状態	栄養学的アプローチ	
F	口腔・栄養	とろみ		口腔および栄養状態	栄養管理（ダイエツタイプ）の必要（ありなし）	食物形態の加工（ソフト食、刻み、とろみ等の必要性）	嚥下/栄養状態	栄養学的アプローチ	
F	口腔・栄養	食事摂取量	全体						
F	口腔・栄養	食事摂取量	主食						
F	口腔・栄養	食事摂取量	副食						
F	口腔・栄養	必要栄養量	エネルギー						
F	口腔・栄養	必要栄養量	たんぱく質						
F	口腔・栄養	提供栄養量	エネルギー						
F	口腔・栄養	提供栄養量	たんぱく質						
F	口腔・栄養	褥瘡（の有無）		皮膚の状態	最重度の褥瘡		皮膚の状態	ステージ分け可能な最も問題のある治療していない褥瘡/損傷のステージ	
							皮膚の状態	ステージ2以上の治療していない褥瘡/損傷	
							皮膚の状態	退院時に存在する最も古いステージ2の褥瘡	
							皮膚の状態	各ステージの現在の治療していない褥瘡/損傷の数	
							皮膚の状態	ステージ1の褥瘡の数	
HF	口腔・栄養	義歯の使用		口腔および栄養状態	歯科口腔	義歯使用（取り外しのできる補綴物）			
HF	口腔・栄養	むせ							
HF	口腔・栄養	歯の汚れ							
HF	口腔・栄養	歯肉の腫れ・出血							

LIFE（科学的介護推進体制加算）				InterRAI HC			OASIS		
区分 ¹⁾	大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目
HF	認知症	認知症の診断		疾患 疾患	疾患 疾患	神経系： アルツハイマー病 神経系：アルツハイマー病 以外の認知症			
HF	認知症	生活・認知機能尺度	身近なもの（たとえば、メガネや入れ歯、財布、上着、鍵など）を置いた場所を覚えていますか	認知	記憶を想起する能力	状況記憶	行動	認知、行動、精神症状 ⁵⁾	
HF	認知症	生活・認知機能尺度	身の回りに起こった日常的な出来事（たとえば、食事、入浴、リハビリテーションや外出など）をどのくらいの期間、覚えていますか	認知	記憶を想起する能力	状況記憶	行動	認知、行動、精神症状	
HF	認知症	生活・認知機能尺度	現在の日付や場所等についてどの程度認識できますか				認知パターン	精神状態に関する簡易面接（BIMS）	時間的方向性：年、月、日
HF	認知症	生活・認知機能尺度	誰かに何かを伝えたいと思っているとき、どれくらい会話でそれを伝えることができますか	コミュニケーションと視覚 コミュニケーションと視覚	自分を理解させることができる 他者を理解できる能力（理解力）				
HF	認知症	生活・認知機能尺度	一人で服薬ができますか	機能状態	IADLの実施状況と能力	薬の管理	医薬品	経口薬の管理	
HF	認知症	生活・認知機能尺度	一人で着替えることができますか （衣服の機能への理解度）				行動	認知、行動、精神症状	
HF	認知症	生活・認知機能尺度	テレビやエアコンなどの電化製品を操作できますか				行動	認知、行動、精神症状	
HF	認知症	Vitality Index	意思疎通（における意欲）						
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	Vitality Index	起床（における意欲）						
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	Vitality Index	食事（における意欲）						
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	Vitality Index	排せつ（における意欲）						
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	Vitality Index	リハビリ・活動（における意欲）						
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	DBD13	忘れてしまうことが多いため、同じことを何度も聞いてしまう	認知	記憶を想起する能力	短期記憶	認知パターン 認知パターン	精神状態に関する簡易面接（BIMS） 精神状態に関する簡易面接（BIMS）	3つの単語の繰り返し リコール
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	DBD13	よく物をなくしたり、置場所を間違えたりする	認知	記憶を想起する能力	短期記憶	行動	認知、行動、精神症状	
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	DBD13	日常的な物事に関心を持ってない						
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	DBD13	特別な理由がないのに夜中に起きて布団から出てしまう				行動	認知、行動、精神症状	
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	DBD13	他人が納得できる根拠がない状況で、他人に文句を言ってしまう	気分と行動	行動の問題	暴言	行動	認知、行動、精神症状	
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	DBD13	昼間、寝ていることが多い						
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	DBD13	過度に歩き回ることが多い	気分と行動	行動の問題	徘徊	行動	認知、行動、精神症状	
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	DBD13	同じ動作を何度も繰り返してしまう				行動	認知、行動、精神症状	
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	DBD13	荒い口調で相手を責めるような言葉を出してしまう	気分と行動	行動の問題	暴言	行動	認知、行動、精神症状	
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	DBD13	服装が場違いな、あるいは季節に合わない場合がある				行動	認知、行動、精神症状	
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	DBD13	世話をしてもらうことを受け入れられない	気分と行動	行動の問題	ケアに対する抵抗			
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	DBD13	周囲にわかってもらえるような理由なしに物を貯め込んでしまう				行動	認知、行動、精神症状	
H ⁽²⁾ F ⁽²⁾	認知症	DBD13	引き出しやたんすの物を取り出そうとして、中身を全部出してしまうことがある				行動	認知、行動、精神症状	

LIFE（科学的介護推進体制加算）				InterRAI HC			OASIS		
区分 ¹⁾	大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	基本動作	機能状態	ADL	ベッド上の可動性	機能的能力 機能的能力 機能的能力 機能的能力 機能的能力	モビリティ モビリティ モビリティ モビリティ モビリティ	寝返り 座位から横たわる 起き上がり 立ち上がり 椅子/ベッドから椅子への移乗
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	歩行・移動	機能状態	IADLの実施状況と能力	外出			
				機能状態	IADLの実施状況と能力	階段	機能的能力 機能的能力 機能的能力	モビリティ モビリティ モビリティ	階段昇降1段（縁石） 階段昇降4段 階段昇降12段
				機能状態	ADL	移動			
				機能状態	ADL	歩行	機能状態	歩行/移動	
				機能状態	移動／歩行	歩行距離	機能的能力 機能的能力 機能的能力 機能的能力	モビリティ モビリティ モビリティ モビリティ	10フィート歩行 50フィート2ターン歩行 150フィート歩行 凹凸のある地面を10フィート歩行
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	認知機能 オリエンテーション（見当識）				認知パターン	精神状態に関する簡易面接 (BIMS)	時間的方向性：年、月、日
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	認知機能 コミュニケーション	コミュニケーションと視覚	自分を理解させることができる				
				コミュニケーションと視覚	他者を理解できる能力 (理解力)				
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	認知機能 精神活動 (時間管理、算術、記憶)	認知	記憶を想起する能力	状況記憶			
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	食事 嚥下機能	認知	日常の意思決定を 行うための認知能力		行動	認知、行動、精神症状	
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	食事 嚥下機能				嚥下/栄養状態	摂食または食事	
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	食事 食事動作および食事介助	機能状態	ADL	食事	機能的能力	セルフケア	食事
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	排泄の動作	機能状態	ADL	トイレの使用： 移乗は含めない	機能的能力	セルフケア	トイレ動作（移乗含まない）
				機能状態	ADL	トイレへの移乗	機能状態 機能的能力	トイレの衛生 トイレ移乗 モビリティ	トイレ移乗
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	入浴動作	機能状態	ADL	入浴： 背中を洗う、洗髪は含めない	機能状態 機能的能力	入浴 セルフケア	シャワー/入浴
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	整容 口腔ケア				機能的能力	セルフケア	口腔衛生
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	整容 整容	機能状態	ADL	個人衛生： 入浴とシャワーは含めない	機能状態	身だしなみ (顔や手を洗うこと、 爪の手入れなど)	
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	整容 衣服の着脱	機能状態	ADL	上半身の更衣	機能状態 機能的能力	上半身の着衣能力 上半身着衣	上半身の更衣
				機能状態	ADL	下半身の更衣	機能状態 機能的能力	下半身の着衣能力 上半身着衣	下半身の更衣
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	社会参加 余暇						
H ²⁾ F ²⁾	その他	ICFステージング	社会参加 社会交流	心理社会面 心理社会面	社会関係 社会関係	家族や友人の訪問 家族や友人とのその他の交流			

- 1) Hは在宅、Fは施設
- 2) 任意項目の場合に右上に2)を記載
- 3) 介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院において、科学的介護推進体制加算（Ⅱ）を算定する場合は診断名が必須、介護老人保健施設、介護医療院においてはさらに服薬情報の提出が必須
- 4) 非経口/静脈内栄養、栄養チューブ、機械的に改変された食事（きざみ食、とろみなど）、治療食（減塩、糖尿病食、低コレステロールなど）
- 5) 記憶障害、意思決定障害（通常の日常生活動作ができない、行動を止められないなど）、言葉による妨害（叫ぶ、暴言等）、暴力、破壊的・幼儿的・または社会的に不適切な行動、妄想・幻覚・妄想的行動
- 6) SOC(Start of Care)：ケア開始、ROC (Resumption of Care)：ケアの再開

- 7) がん治療（化学療法、放射線療法）、呼吸療法（酸素療法、吸引、気管切開ケア、人工呼吸器）、その他（IV 薬剤、輸血、透析、IV アクセス）
※治療中、治療計画がある場合
- 8) 非専門家の能力と意欲に関する状況（ADL、服薬管理、医療管理、医療処置、監視と安全）
- 9) 転倒予防介入、うつ病に対する介入、痛みを監視および緩和するための介入、褥瘡を予防するための介入、湿潤創傷治癒の原理に基づく褥瘡治療

表2：InterRAI HC を基準としたおよび OASIS の項目対応（LIFE（科学的介護推進加算）にはない項目）

InterRAI HC			OASIS		
大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目
基本情報	婚姻状況				
基本情報	事業者番号				
基本情報	アセスメント理由		管理情報	評価理由	
基本情報	本人のケア目標				
基本情報	アセスメント時の 居住場所				
基本情報	同居形態	90日前（または前回 アセスメント時）と比較して同 居形態の変化			
基本情報	同居形態	利用者が家族、身内が 利用者は他のところに 住むほうがいいのではないかと 思っている			
基本情報	退院後の経過期間				
相談受付表	受付日				
相談受付表	相談受付時までの経過				
相談受付表	相談受付内容				
相談受付表	過去5年間の利用履歴（短 期は含まず）	介護施設、療養病院／病棟			
相談受付表	過去6年間の利用履歴（短 期は含まず）	認知症対応型共同生活介護、小 規模多機能型居宅介護			
相談受付表	過去7年間の利用履歴（短 期は含まず）	高齢者住宅：有料老人ホーム （特定施設入居者生活介護 有り・無し含む）			
相談受付表	過去8年間の利用履歴（短 期は含まず）	精神科病院、精神科病棟			
相談受付表	過去9年間の利用履歴（短 期は含まず）	精神障害者の施設			
相談受付表	過去10年間の利用履歴 （短期は含まず）	知的障害者の施設			
相談受付表	教育歴				
相談受付表	医療機関受診時の送迎				
相談受付表	受診中付き添いが必要				
			管理情報 - 患者追跡	ケア開始日	
			管理情報 - 患者追跡	ケア再開日	
			管理情報 - 患者追跡	民族性	
			管理情報 - 患者追跡	人種	
			管理情報	言語	
			管理情報	評価を完了した人の規律 （職種）	
			管理情報	退院/転院/死亡日	
			管理情報	医師の指示による治療開始 日（治療再開）	
			管理情報	紹介日	
			管理情報	搬送	
			管理情報	入院施設（治療開始/治療再開 日の直前の14日以内に1つ以上 の入院施設から 退院したかどうか）	
			管理情報	入院患者の退院日	
			管理情報	緊急ケア（入院含む）	
			管理情報	入院施設（の種類）	
			管理情報	転送時に次の医療提供者に 最新の薬剤リストを提供す る	
			管理情報	退院時に次の医療提供者に 最新の薬剤リストを提供す る	
			管理情報	退院時に患者に最新の薬剤 リストを提供する	
			管理情報	現在の調整済み薬剤リスト を後続の医療提供者に送信 するルート	
			管理情報	現在の調整済み薬剤リスト を患者に送信するルート	

InterRAI HC			OASIS		
大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目
認知	記憶を想起する能力	手続き記憶	行動	認知、行動、精神症状	
認知	せん妄の兆候	注意がそらされやすい	認知パターン	認知機能のレベル	
認知	せん妄の兆候	支離滅裂な会話がある	認知パターン	せん妄の兆候と症状	
認知	せん妄の兆候	精神機能が1日の中で変化する	認知パターン	せん妄の兆候と症状	
認知	精神状態の急な変化				
認知	過去90日間（または前回アセスメント以降）の意思決定能力の変化				
			認知パターン	精神状態を調べるための簡単な面接は実施すべきか？	
			認知パターン	精神状態に関する簡易面接（BIMS）	BIMSサマリスコア
			認知パターン	混乱したとき（過去14日以内に報告または観察された場合） （混乱を経験したか、その場合の時間帯や状況）	
			認知パターン	不安を感じたとき（過去14日以内に報告または観察された場合） （過去14日間に不安を感じた頻度）	
コミュニケーションと視覚	聴覚	聴力	聴覚、発話、視覚	聴覚	
コミュニケーションと視覚	聴覚	補聴器の使用	聴覚、発話、視覚	聴覚	
コミュニケーションと視覚	視覚	視力	聴覚、発話、視覚	視覚	
コミュニケーションと視覚	視覚	眼鏡、コンタクトレンズ、拡大鏡などの使用	聴覚、発話、視覚	視覚	
			聴覚、発話、視覚	健康リテラシー	
気分と行動	うつ、不安、悲しみの気分の兆候	否定的なことを言う	気分	患者の気分に関する面接（PHQ-2～9）	
気分と行動	うつ、不安、悲しみの気分の兆候	自分や他者に対する継続した怒り			
気分と行動	うつ、不安、悲しみの気分の兆候	非現実な恐れがあることを思わせる非言語を含む表現			
気分と行動	うつ、不安、悲しみの気分の兆候	繰り返し体の不調を訴える			
気分と行動	うつ、不安、悲しみの気分の兆候	たびたび不安、心配ごとを訴える（健康上の不安は除く）			
気分と行動	うつ、不安、悲しみの気分の兆候	悲しみ、苦悩、心配した表情			
気分と行動	うつ、不安、悲しみの気分の兆候	泣く、涙もろい			
気分と行動	うつ、不安、悲しみの気分の兆候	ひどいことが起こりそうだと繰り返し言う			
気分と行動	うつ、不安、悲しみの気分の兆候	興味を持っていた活動を失くなる	気分	患者の気分に関する面接（PHQ-2～9）	
気分と行動	うつ、不安、悲しみの気分の兆候	社会的交流の減少			
気分と行動	うつ、不安、悲しみの気分の兆候	人生の喜びを失っているという非言語を含む表現（快感喪失）	気分	患者の気分に関する面接（PHQ-2～9）	
気分と行動	利用者自身が応えた気分	普段楽しんでいたことに興味や喜びが沸かなかったこと	気分	患者の気分に関する面接（PHQ-2～9）	
気分と行動	利用者自身が応えた気分	不安だったり、落ち着かない感じ	気分	患者の気分に関する面接（PHQ-2～9）	
気分と行動	利用者自身が応えた気分	悲しく、落ち込んで、絶望する感じ	気分	患者の気分に関する面接（PHQ-2～9）	
気分と行動	行動の問題	暴行	行動	認知、行動、精神症状	
気分と行動	行動の問題	社会的に不適切な迷惑な行為	行動	認知、行動、精神症状	
気分と行動	行動の問題	公衆での不適切な性的行動や脱衣	行動	認知、行動、精神症状	
気分と行動	行動の問題	無許可の退居・家出またはその恐れ			
気分と行動	最近3日間における生活満足度				
			気分	総合重症度スコア	
			行動	破壊的行動症状の頻度（報告または観察）	
心理社会面	社会関係	長期にわたっての関心のある活動への参加			
心理社会面	社会関係	家族や友人との葛藤や怒り			
心理社会面	社会関係	ある家族や近い知り合いに対する恐れ			
心理社会面	社会関係	ネグレクト（遺棄・放置）、粗末に扱われる、虐待される			
心理社会面	孤独		気分	社会的孤立	
心理社会面	過去90日間（または前回アセスメント以降）の社会的活動の変化				
心理社会面	日中、1人きりでいる時間				
心理社会面	過去90日間の大きなストレス				
心理社会面	強み（ストレングス）				

InterRAI HC			OASIS		
大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目
			膀胱と腸	排便のためのストーマ	
			機能的能力	以前のデバイスの使用	
			機能的能力	モビリティ	車の乗り降り
			機能的能力	モビリティ	床から物を拾う
			機能的能力	事前機能：日常活動	
機能状態	IADLの実施状況と能力	食事の用意			
機能状態	IADLの実施状況と能力	家事一般			
機能状態	IADLの実施状況と能力	金銭管理			
機能状態	IADLの実施状況と能力	電話の利用			
機能状態	IADLの実施状況と能力	買い物			
機能状態	IADLの実施状況と能力	主な室内移動手段			
機能状態	移動／歩行	4メートルの歩行時間			
機能状態	移動／歩行	過去3日間に家（建物）の外に出た日数（短時間でもよい）			
機能状態	活動状況	過去3日間に家（建物）の外に出た日数（短時間でもよい）			
機能状態	活動状況	本人は自分の身体機能が向上すると信じている			
機能状態	身体機能の潜在能力	ケアスタッフは本人の身体機能が向上すると信じている			
機能状態	過去90日間（または前回アセスメント以降）のADLの変化				
機能状態	自動車の運転	過去90日間に車を運転した場合、運転を制限したり、やめたほうが良いと誰かに言われた様子があった			
機能状態	自動車の運転	筋骨系：過去30日間（または前回アセスメント以降）の大腿骨折			
疾患	疾患	筋骨系：過去30日間（または前回アセスメント以降）のその他の骨折			
疾患	疾患	神経系：片麻痺			
疾患	疾患	神経系：多発性硬化症			
疾患	疾患	神経系：対麻痺			
疾患	疾患	神経系：パーキンソン病			
疾患	疾患	神経系：四肢麻痺			
疾患	疾患	神経系：脳卒中／脳血管障害			
疾患	疾患	心肺系：冠動脈疾患（CHD）			
疾患	疾患	心肺系：慢性閉塞性肺疾患（COPD）			
疾患	疾患	心肺系：うっ血性心不全（CHF）			
疾患	疾患	心肺系：高血圧症			
疾患	疾患	精神：不安症			
疾患	疾患	精神：双極性障害			
疾患	疾患	精神：うつ			
疾患	疾患	精神：統合失調症			
疾患	疾患	感染症：肺炎			
疾患	疾患	感染症：過去30日間の尿路感染症（UTI）	膀胱と腸	この患者は過去 14 日間に尿路感染症の治療を受けましたか？	
疾患	疾患	その他：がん			
疾患	疾患	その他：糖尿病	アクティブ診断	活動性診断—併存疾患および併存疾患（comorbidities and co-existing conditions）（併存疾患に末梢血管疾患または末梢動脈疾患、糖尿病があるか）	
疾患	その他の診断				

InterRAI HC			OASIS		
大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目
健康状態	転倒		健康状態	入院のリスク	
健康状態	最近の転倒		健康状態	SOC/ROC以降の転倒 ⁶⁾	
健康状態	問題の頻度	バランス:支えなしでは立位になることが難しいか、できない	健康状態	SOC/ROC以降の転倒回数 ⁶⁾	
健康状態	問題の頻度	バランス:立位での方向転換が難しいか、できない			
健康状態	問題の頻度	バランス:めまい			
健康状態	問題の頻度	バランス:不安定な歩行			
健康状態	問題の頻度	心肺:胸痛			
健康状態	問題の頻度	心肺: 気道内分泌物の排出困難			
健康状態	問題の頻度	精神:異常な思考			
健康状態	問題の頻度	精神:妄想	行動	認知、行動、精神症状	
健康状態	問題の頻度	精神:幻覚	行動	認知、行動、精神症状	
健康状態	問題の頻度	神経:失語症			
健康状態	問題の頻度	消化器系:胃酸の逆流			
健康状態	問題の頻度	消化器系:便秘			
健康状態	問題の頻度	消化器系:下痢			
健康状態	問題の頻度	消化器系:嘔吐			
健康状態	問題の頻度	睡眠障害: 入眠または睡眠の継続困難			
健康状態	問題の頻度	睡眠障害:睡眠過多			
健康状態	問題の頻度	その他:誤嚥			
健康状態	問題の頻度	その他:発熱			
健康状態	問題の頻度	その他: 消化管出血、尿性器出血			
健康状態	問題の頻度	その他:不衛生			
健康状態	問題の頻度	その他:末梢浮腫			
健康状態	呼吸困難（息切れ）		健康状態	患者が呼吸困難または 顕著な息切れを 起こすのはいつですか？	
健康状態	疲労度				
健康状態	痛み	痛みの頻度			
健康状態	痛み	痛みの程度：最も重度のもの			
健康状態	痛み	痛みの持続性			
健康状態	痛み	突破する痛み			
健康状態	痛み	痛みのコントロール			
			健康状態	痛みによる睡眠への影響	
			健康状態	痛みによる治療活動の妨害	
			健康状態	痛みによる治療活動の妨害	
健康状態	状態の不安定性	認知、ADL、気分、行動を不安定にするような病態や症状がある （不安定、変動、悪化）			
健康状態	状態の不安定性	急性症状が発生したり、再発性や慢性の問題が再燃した			
健康状態	状態の不安定性	末期の疾患であり、 余命が6ヶ月以下である			
健康状態	主観的健康感				
健康状態	喫煙と飲酒	毎日喫煙			
健康状態	喫煙と飲酒	飲酒			
口腔および栄養状態	栄養上の問題	過去30日間に5%以上か180日間に10%以上の体重減少			
口腔および栄養状態	栄養上の問題	脱水である、またはBUN／クレアチニン比が20以上			
口腔および栄養状態	栄養上の問題	1日1リットル未満の水分摂取			
口腔および栄養状態	栄養上の問題	水分排泄量が摂取量を超える			
口腔および栄養状態	歯科口腔	自分の歯が折れている。欠けている、ゆるいほか正常でない			
口腔および栄養状態	歯科口腔	口の渇きを訴える			
口腔および栄養状態	歯科口腔	咀嚼困難を訴える			
口腔および栄養状態	栄養管理 （ダイエットタイプ）の必要（ありなし）	低塩分	嚥下/栄養状態	栄養学的アプローチ	
口腔および栄養状態	栄養管理 （ダイエットタイプ）の必要（ありなし）	カロリー制限	嚥下/栄養状態	栄養学的アプローチ	
口腔および栄養状態	栄養管理 （ダイエットタイプ）の必要（ありなし）	低脂肪	嚥下/栄養状態	栄養学的アプローチ	
口腔および栄養状態	栄養管理 （ダイエットタイプ）の必要（ありなし）	その他	嚥下/栄養状態	栄養学的アプローチ	

InterRAI HC			OASIS		
大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目
皮膚の状態	褥瘡の既往		皮膚の状態	この患者はうっ滞性潰瘍がありますか？	
皮膚の状態	褥瘡以外の皮膚潰瘍		皮膚の状態	観察可能な現在のうっ滞性潰瘍の数	
			皮膚の状態	観察可能な最も問題となるうっ滞性潰瘍の状態	
皮膚の状態	重要な皮膚の問題				
皮膚の状態	皮膚の裂傷や切り傷				
皮膚の状態	その他の皮膚状態や変化				
皮膚の状態	足の問題		皮膚の状態	この患者に手術創はありますか？	
			皮膚の状態	観察可能な最も問題となる手術創の状態	
アクティビティ	好む活動	カード、ゲーム、クイズ			
アクティビティ	好む活動	コンピュータ、インターネット関係			
アクティビティ	好む活動	会話、電話			
アクティビティ	好む活動	創作活動			
アクティビティ	好む活動	ダンス、舞踏			
アクティビティ	好む活動	人生についての議論／回顧（回想法）			
アクティビティ	好む活動	運動			
アクティビティ	好む活動	庭仕事、畑仕事			
アクティビティ	好む活動	他者の手助け			
アクティビティ	好む活動	音楽や歌			
アクティビティ	好む活動	ペット			
アクティビティ	好む活動	読書、執筆			
アクティビティ	好む活動	宗教活動			
アクティビティ	好む活動	旅行や買い物			
アクティビティ	好む活動	屋外の散歩			
アクティビティ	好む活動	テレビ、ラジオ、ビデオ／DVD鑑賞			
アクティビティ	好む活動	料理／お菓子作り			
アクティビティ	好む活動	パズル／クロスワード			
アクティビティ	好む活動	その他1			
アクティビティ	好む活動	その他2			
アクティビティ	興味・関心	より多くのレクリエーションに参加することに興味がある			
アクティビティ	興味・関心	転倒予防プログラムに参加することに興味がある			
アクティビティ	興味・関心	記憶力改善のためのプログラムに参加することに興味がある			
アクティビティ	興味・関心	身体機能向上プログラムに参加することに興味がある			
薬剤	全使用薬剤のリスト	経路			
薬剤	全使用薬剤のリスト	回数（1回／日、3回／日など、頓服の場合、過去3日間に使用した回数）			
薬剤	全使用薬剤のリスト	頓用			
薬剤	薬のアレルギー				
薬剤	処方薬の順守				
			医薬品	高リスク薬物クラス：使用と適応症	
			医薬品	薬物療法の見直し	
			医薬品	薬物フォローアップ	
			医薬品	薬物介入	
			医薬品	患者／介護者に対する高リスク薬物教育	
			医薬品	注射薬の管理	

InterRAI HC			OASIS		
大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目
治療とケアプログラム	健診・予防接種	過去1年間の血圧測定			
治療とケアプログラム	健診・予防接種	過去5年間の大腸内視鏡検査			
治療とケアプログラム	健診・予防接種	過去1年間の歯科検査			
治療とケアプログラム	健診・予防接種	過去1年間の眼科検査			
治療とケアプログラム	健診・予防接種	過去2年間の聴力検査			
治療とケアプログラム	健診・予防接種	過去1年間のインフルエンザワクチン	特別な治療、手順、プログラム	インフルエンザワクチン接種を受けました (10月1日から3月31日の間)	
			特別な治療、手順、プログラム	インフルエンザワクチンデータ収集期間 (10月1日から3月31日の間に在宅医療機関のサービスを受けていたか)	
			特別な治療、手順、プログラム	患者のCOVID-19ワクチン接種は最新です	
治療とケアプログラム	健診・予防接種	過去2年間のマンモグラフィーか乳房検査 (女性のみ)			
治療とケアプログラム	健診・予防接種	過去5年間の65歳以降の肺炎ワクチン			
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	治療:抗がん剤療法	特別な治療、手順、プログラム	特別な治療、手順、プログラム ⁷⁾	
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	治療:透析	特別な治療、手順、プログラム	特別な治療、手順、プログラム	
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	治療:感染管理	特別な治療、手順、プログラム		
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	治療:経静脈的薬物投与	特別な治療、手順、プログラム	特別な治療、手順、プログラム	
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	治療:酸素療法	特別な治療、手順、プログラム	特別な治療、手順、プログラム	
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	治療:放射線療法	特別な治療、手順、プログラム	特別な治療、手順、プログラム	
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	治療:吸引	特別な治療、手順、プログラム	特別な治療、手順、プログラム	
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	治療:気管切開口のケア	特別な治療、手順、プログラム	特別な治療、手順、プログラム	
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	治療:輸血	特別な治療、手順、プログラム	特別な治療、手順、プログラム	
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	治療:人工呼吸器	特別な治療、手順、プログラム	特別な治療、手順、プログラム	
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	治療:創のケア			
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	プログラム:トイレ誘導			
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	プログラム: 緩和ケアプログラム			
治療とケアプログラム	特別な治療・ケア (過去3日間)	プログラム: 体位変換/姿勢保持			
治療とケアプログラム	過去7日間のサービス	訪問介護			
治療とケアプログラム	過去7日間のサービス	訪問看護			
治療とケアプログラム	過去7日間のサービス	通所介護/リハ			
治療とケアプログラム	過去7日間のサービス	食事/配食			
治療とケアプログラム	リハビリテーション	理学療法			
治療とケアプログラム	リハビリテーション	作業療法			
治療とケアプログラム	リハビリテーション	言語療法			
治療とケアプログラム	受診・入院 (過去90日間の回数を右詰めで記入)	入院			
治療とケアプログラム	受診・入院 (過去90日間の回数を右詰めで記入)	救急外来 (入院に至ったものは含まない)			
治療とケアプログラム	受診・入院 (過去90日間の回数を右詰めで記入)	医師の診察			
治療とケアプログラム	身体抑制	身体抑制			

InterRAI HC			OASIS		
大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目
意思決定権と事前指示	意思決定権	法廷後見人等			
支援状況	インフォーマルな援助者	本院との関係			
支援状況	インフォーマルな援助者	同居	習慣的な日常活動の好み	患者の生活状況（独居or同居or介護付き住宅など、介護者のサポートできる時間）	
支援状況	インフォーマルな援助者	IADLの援助			
支援状況	インフォーマルな援助者	ADLの援助	習慣的な日常活動の好み	援助の種類と提供元 ⁸⁾	
支援状況	インフォーマルな援助者の状況	インフォーマルな援助者（たち）はこれ以上ケアを続けられない			
支援状況	インフォーマルな援助者の状況	主なインフォーマル援助者は苦悩、怒り、うつを表現する			
支援状況	インフォーマルな援助者の状況	家族や近い友人は利用者の病気によって憔悴している			
支援状況	過去3日間のインフォーマルな援助量（時間実数）		習慣的な日常活動の好み	患者の生活状況（独居or同居or介護付き住宅など、介護者のサポートできる時間）	
環境評価	屋内の環境	家の荒廃			
環境評価	屋内の環境	不潔			
環境評価	屋内の環境	不十分な冷暖房			
環境評価	屋内の環境	安全の欠如			
環境評価	屋内の環境	家や家の中の部屋への手段が制限されている			
環境評価	バリアフリー仕様の住宅に居住				
環境評価	周辺環境	緊急通報			
環境評価	周辺環境	援助なしで行ける日用品の店がある			
環境評価	周辺環境	日用品の配達を頼むことができる			
環境評価	経済状況				
今後の見通しと全体状況	過去90日間（または前回アセスメント以降）におけるケア目標の達成				
今後の見通しと全体状況	90日前（または前回アセスメント時）と比較した全体の自立度の変化				
今後の見通しと全体状況	悪化する前に自立していたADLの数（G2の入浴[G2a]～食事[G2j]の10項目）				
今後の見通しと全体状況	悪化する前に自立していたIADLの数（G1の食事の仕度[G1a]～外出[G1h]の8項目）				
今後の見通しと全体状況	増悪原因の起こった時期				
利用の終了	今後の居住場所		管理情報	退院処分（退院後の患者の居住地）	
アセスメント情報	アセスメント担当者のサイン				
			評価と目標設定への参加	介入の概要 ⁹⁾	